

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	白井 暢子	市確認欄	
専門部会名	第4回	子ども部会	
日時	令和7年12月17日(水) 10時00分～12時00分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9名	市職員 2名	事務局 3名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 就労部会との合同部会について(振り返り) 2 特別支援教育コーディネーター研修について 3 障害児の進路選択について 4 来年度の取り組みについて 5 全体会で伝えたいこと 6 その他 週末の過ごし方カレンダーについて 医療的ケア児の現状について		
報告・検討の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 就労部会との合同部会について(振り返り) <ul style="list-style-type: none"> ・学校の入口は広いが、出口が分からず進路先がよく分からないまま支援をしている場合が多く、将来を見据えて支援するために助言を貰えると有難い。 ・先日実際に就労移行に見学に行き少しイメージが出来たが、将来の進路先の見立てが難しく、卒業までに何が出来ていたらいいのか分からない。 ・社会資源や就労の選択肢を知ることが支援者の力になると思う。 ・就労部会から教えてもらうだけでなく、子ども部会からも伝えられることがないか考えられるとよいのではないか。 ・障害児の発達支援での5領域と職業準備性ピラミッドの内容が重なる部分も多い。具体的な方法論やHow toが学べるとよいのでは。例えばあるケースを通して就労移行が実習を受けて客観的な評価を貰い、放課後等デイサービスでその評価を受けて支援を見直したケースがあり、そういったケースを通して双方の立場から議論が出来ると良いのではないか。 ・進路の選択肢があることを高校生本人に伝え、児自身が迷うこともあるが自分の将来を自分で考える良いきっかけになったケースもある。 2 特別支援教育コーディネーター研修について <ul style="list-style-type: none"> 実施報告を基に今年度の振り返りを行う。 ・講義について、進路の選択肢の一つとして理解出来るきっかけになったのではないか。事例検討については、令和6年は架空のケースで行ったが、具体的に話しにくいという意見もあり、今年は実際のケースで実施した。 		

- ・アンケート結果から福祉と学校との連携がまだ進んでいない、情報共有が出来ていない現状も見えている。
- ・今後も引き続き支援者の顔が見える関係づくりは大切。来年度もコーディネーター研修を続けていけていきたい。
- ・内容としては、引き続き進路選択について。例えば通信制の学校について講義してもらうのはどうか、または保護者対応について、放課後等デイサービスの見学、学校の支援級の見学なども検討してもよいのでは。
- ・進路先が多様になってきていて支援者が進路について知っておくことでよりよい支援に繋がる。日進高校付属中学についても今後動きがある。
- ・学校の先生から進路についての情報も貰えたら有難い。
- ・学校などの進路だけでなく、一般社団法人アスバンで不登校や貧困家庭の高校生向けにヘルパー研修や職場でのインターンシップを紹介しており、県内で20人以上受けている。
- ・学校教育課としては、学校でも活発に事例検討を実施してもらいたいと思っているため継続して出来ると良い。
- ・事例検討で、保護者の意見をどう聞いているか確認すると、はっきりとした意向を聞けていない先生も多いのではと感じた。保護者の意見ももう少し聞いてもらえると良いと感じた。
- ・時期は学校側としては来年度も9月の1週目をお願いしたい。2週目以降は定期テストや校外学習等があって難しい。

3 障害児の進路選択について

進路について保護者からどんな質問を受けているのかを学校、事業所、相談員からアンケート聴取し事務局が要約した質問について学校教育課に回答をいただいた資料を基に、内容について協議を行った。今後の用途に応じて表記の仕方を修正していくことについて議論され、次回はさらに修正したものを基に検討することとなる。

4 来年度の取り組みについて

来年度のテーマと開催時期について議論する。

- ・障害児の進路選択における関係機関の連携、就労を見据えた学齢期からの支援については今年度に引き続き検討していく。
- ・学校と福祉との連携については、上記のテーマに取り組んでいく上でも必要なためテーマにしてはどうか。
- ・医療的ケア児についても検討する場となっており、それも含めて検討。
- ・市内の事業所の意見を聞くため、児の事業所交流会と子ども部会との連動をもう少し出来ると良いのではないか。
- ・事業所交流会の内容を子ども部会から提供する形も出来るのではないか。
- ・現在所属機関が電子連絡帳ヘルピーネットの利用規約に該当せず、入れない機関があるため市に入れてもらえるように依頼している。来年度はヘルピーを使って子ども部会の議事録や資料など情報共有するとともに、意見交換にも活用していきたい。
- ・開催時期としては、6月頃、9月に特別支援教育コーディネーター研修、12月に部会全体会がある予定のため、その後1月～2月頃に部会を行い、就労部会との合同部会については今後就労部会と協議していく。現在の時点では4回の予定。

	<p>5 全体会で伝えたいこと</p> <p>3月に実施される全体会に部会長、副部会長が出席し今年度の取り組み、来年度のテーマについて報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、全体会でのテーマに沿って繋がりのある支援を意識して協議を行ってきたことを確認、子ども部会での内容を報告するとともに、来年度も引き続き就労部会との合同部会開催を希望していくことを確認した。 ・就労部会が開催している福祉的就労説明会についても、どのように行われているのか分からない部会員もいるので、参加すると就労のイメージも持ちやすくなるのではないか。 <p>6 その他 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末の過ごし方カレンダーについて 直近30日間の閲覧数が18件だった。来年度もカレンダーを作成して、掲載をしていく。また掲載時には「コドモン」にて配信して周知を行うとともに、周知方法についてその他の方法について検討を行う。 ・医療的ケア児の現状について 本日担当者不在のため、経緯のみお伝え。 今年度医ケア児の保護者に向けてアンケートを実施、来年1月には定例で行っている(年2回)医療的ケア児の支援に関わる打合せ会を実施予定。 部会の事前打ち合わせで、医療的ケア児の就学相談についての流れについて意見が出たため、参考資料を提示する。 学校教育課の近藤先生が、愛知県医療的ケア児支援センターの依頼を受けて研修会で講義をした資料を用いて、近藤先生に就学の流れをご説明いただいた。
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	調整中
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	子ども部会
日 時	令和 7 年 12 月 17 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 谷本 由美	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 大嶋 翔太	
⑤ 大石 葉子（欠席）	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 浅野 紗織	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 奥田 佐智子	② 福田 早希
----------	---------

（事務局）

① 武田 裕子（欠席）	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝（欠席）	④ 西澤 伸太郎
⑤ 白井 暢子	